



# ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2013年3月1日

3月号・第134号

奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲



本年度の例会計画発表(保存版)

自然教室チーム活動計画&スタッフ募集

永年会員五名の方に感謝状贈呈

## Contents

§ § § § §

永年会員感謝状贈呈式・受賞者の声……	①②	美味旬感・奈良学クイズ……………	⑬
新春講演会……………	③	自然俳句……………	⑭
リレー随筆……………	④	癒しの散歩道&ならやま茶論……………	⑮
自然教室チームだより……………	⑤	青垣春秋……………	⑯
Monthly Repo.ならやま……………	⑥	そば研新年会……………	⑰
里山の今……………	⑦⑧	ならやま景観整備&情報BOX……………	⑱
やさしい昆虫講座……………	⑨	行事案内(例会予告)……………	⑲⑳
例会年間計画(保存版)……………	⑩⑪	幹事会報告・ペン画に寄せて・編集後記…	㉑
鳥シリーズ&地域情報……………	⑫	♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪	

## 永年会員感謝状贈呈式 永年会員受賞者喜びの声

平成25年1月26日、奈良市生涯学習センターに於いて「奈良・人と自然の会」主催による新春講演会が開催された。

講演に先立ち10年の長きにわたり本会に在籍活動してこられた5名の方々(新子泰子様、大石門三様、小田久美子様、宮澤喜代子様、弓場京子様)に藤田会長より永年会員感謝状が贈呈された。



### 感謝状本文

『貴方は永年に亘り自然環境保全及び自然環境教育の実践を通じて本会の発展に尽力されました。

その御功労に対し感謝の意を称します。』

### 会長挨拶：

本日3名の方に感謝状をお渡し致しました。今回は所用でお越しに成れない新子さん、大石さん含め5名の方が表彰の対象者で御座います。平成14年に入会されて今日まで10年の長きにわたり「奈良・人と自然の会」の発展に貢献されました事に対して心ばかりの感謝状を贈呈させて頂きました。

皆様方のお陰で会員数は140名を超え、ならやま景観整備、例会そして自然教室の3つの部門で大勢の方々が活動されて自然環境の保全や自然環境教育の実践を通じて地域社会に貢献されております。今後とも「明るく元気に楽しくそして無理をせず」をモットーに「奈良・人と自然の会」の活動に御協力頂きます事をお願い申し上げます。私のお礼とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

受賞者の方々に本会に御入会されたきっかけ、当時の思い出、現在の御様子と共にお喜びの声をお聞かせ頂いた。

### 宮澤様：

私はシニア自然大学の卒業生ではございませんが、知り合いの方の紹介でシニアOBの方々が当時主催されていた東海自然歩道を歩く会に参加させて頂きました。それがこの会入会のきっかけです。

当時は今の様な作業は無く、もっぱら例会中心の会でした。皆様と共に東海自然歩道を辿り、色々な所に出掛けられた事は今も良い思い出です。シニア自然大学の卒業生でもなかった私を会の皆様は誰一人気取らず温かく迎えて下さり、大変楽しい時を過ごさせて頂きました。深く感謝しております。

最近では会の活動にもなかなか出席出来ず御無沙汰ばかりしておりますが、今回この様な華やかな場を設けて頂き非常に有難く感じております。

現在はノルマがなく好きな時に参加出来る自宅近くの西畑の棚田に月1-2回のペースで参加させて頂いております。本日は誠に有難うございました。

### 弓場様：

私も時間の都合が付かずシニア自然大学には参加しておりませんが、主人が楽しそうに参加していた奈良を中心に東海自然歩道を歩く会と言うものに主人に合流する形で参加させて頂いたのが本会入会のきっかけです。

もともと奈良県生まれで奈良育ちの私は奈良に生まれ育った事を非常に誇りに思っており、神社仏閣や素晴らしい自然に恵まれたこの奈良ほど素晴らしい所は他に無いと常々思っております。

歩く会に参加されている方は皆さんすごく生き生きと生きていてその仲間に入れて頂くだけでとても幸せな気分になりました。また参加者の皆様はどなたも植物に対する造詣が深く、色々な事を沢山教えて頂きいっぱいメモも取りました。どれもみな素敵な思い出です。

現在は特に歴史に興味を持ち現地を訪れての勉強をさせて頂いております。ならやまでの作業はなかなか儘なりません、歴史文化教室の例会等にはこれからも体力の続く限り参加させて頂きたいと思っております。奈良まほろば検定などもありますので覚えた事を忘れない様、奈良各地を訪ねて勉強するのが今の楽しみです。

本日は永年会員の表彰を頂き有難うございました。



#### 小田様:

本日は永年会員の感謝状を頂き有難う御座いました。アツと言う間の10年間でした。私もシニア自然大学の経験は有りませんが、平日に催されていた当会に当時現役で参加出来なかった主人に勧められ入会したのがきっかけです。

早々に幹事も経験させて頂き、知らぬ間に実質主人の先輩に成ってしまっておりました。主人が入会した頃には「貴方が小田さんの御主人ですか？」とよく他の方から言われたと申しておりました。この様にこの会ではお互いの立場が逆転しておりました。

当会も当時はシニア卒の身内の集まりの様な感が有り、自己紹介の折には横から入った「横入り」ですとか、「もぐり」ですとか言う言い方を自嘲気味にしておりました。その後はシニア以外からの入会者も増えそう言う言い方もしなく成りましたが、当初は少々肩身の狭い思いを致しました。これも今と成っては懐かしい思い出です。

私自身はシニア自然大学に参加しませんでした。講義を受けて帰って来る主人はいつも目をキラキラさせて家に帰って参りました。そして習ってきた事を色々私にレクチャーしてくれました。野鳥の事もそうですが、お蔭さまで当時主人からお教わ

った事は今も色々身に付いております。

当時の思い出として会報100号記念にも書かせて頂きましたが、出にくかった例会に半年ぶりに参加させて頂いた時、皆様から「小田さん良く来たね。本当によく来たね。」と温かく迎えて頂いた事が強く印象に残っております。そう言う意味では初めて参加した時にこの様に温かく迎えられた事が一番の思い出です。この経験から初参加者に対する温かい接し方の大切さを私自身はつくづく感じました。今も初参加の方には温かく接する様に心掛けております。

個人的には、まほろばソムリエの活動に忙しく日々時間に追われておりますが、例会はじめならやまの活動には参加して行きたいと思っております。本日は誠に有難うございました。

尚、多方面でご活躍され当日ご参加頂けなかった大石様からは、多岐に亘る活動のなかから「生命科学振興会」に投稿された「日本ミツバチのたはごと」と題した玉稿をお寄せ頂きました。別に紙面を設け全文ご紹介させて頂きますので是非ご高覧下さい。

また、所用のためお越しいただけなかった新子様からは、丁寧なお手紙を拝受いたしました。

『「奈良・人と自然の会」設立十二年をお迎えるおめでとうでございます。会報が送られるたび目覚ましい御活動の様を感嘆の思いで拝見させていただいております。初期のハイキングに参加致しましたきりその後は孫の世話で全くの御無沙汰続きでございます。いつの日か又寄せさせていただけるのを楽しみにいたしておりますが、皆様の御活躍と会の御発展を心より願っております。何のお役にも立てませんでしたのに十年の感謝状を頂戴いたし恐縮に存じます。有難うございました。』

#### 【インタビューを終えて】

当方の質問に対し当時の事を振り返りながら皆様終始笑顔でお答え頂きました。その姿に皆様のこれまでの人生に対する自信と誇りの様なものを感じました。素晴らしい大先輩諸氏に改めて敬意を表したいと思っております。これからも先達としてご指導くださいますようお願いいたします。本当におめでとうございました。

(聞き手：青木、記録係：辻本)

## 永年会員表彰と新春講演会

開催日時：平成25年1月26日10時～12時  
 場所：奈良市生涯学習センター  
 講師：長澤 忠彦 氏  
 (京都学園大学・産業技術短期大学非常勤講師)

演題：「地球環境問題について」  
 —いつまでも快適に住み続けられる地球  
 であるために—  
 参加者：会員41名 一般11名 計52名

### I) 永年会員表彰

講演会に先立ち永年（10年）会員の表彰式が行われた。

表彰該当者は5名（新子泰子、大石門三、小田久美子、宮澤喜代子、弓場京子の各氏）（50音順敬称略）で、小田、宮澤、弓場の3名の方が出席され、藤田会長より感謝状が授与された。

### II) 新春講演会

昭和30年代の大阪のсмоッグの写真と現在の中国の大気汚染の写真から講演は始まった。日本の公害問題の解決には、30年から50年の長い時間が掛かっているが、まだすべてが解決されたわけではない。



地球環境問題には様々な分野があるが、地球温暖化、熱帯雨林の減少、砂漠化、水問題が取り上げられた。

CO<sub>2</sub>などの温暖化ガスの影響で産業革命以降の平均気温は上昇し、水不足、異常気象、生態系の破壊、食糧生産の減少などがでている。温暖化をストップさせるためにCool BizやWarm Biz、ハイブリッド車・電気自動車の利用などが推奨されているが、CO<sub>2</sub>を増やさないバイオマス燃料はこれからもっと利用していくべきである。

大規模農地化、森林火災等による熱帯地域での自然林の減少が著しく、生態系を壊し、多数の生物の絶滅を引き起こしている。

人間にとっても生物多様性の恩恵は大きく、その重要性にもっと目を向けなければならない。日本においても絶滅危惧種は増えている。一方生態系を壊す外来生物には「入れない」「捨てない」「拡げない」対策が必要である。



さらに気候変動、降水量の減少などの自然的要因の他に人為的要因として「過放牧」「過伐採」「過開墾」そして「過灌漑」（不適切な水管理による塩分の集積）による地球の砂漠化がある。日本でも温暖化によるブナ林適性地の減少、渇水リスクの増大など砂漠化の心配がある。

また地球の水資源はほとんどが海水で、残りの淡水も氷河や地下水がほとんどで、飲料に適したものはわずか0.01%に過ぎない。

ヴァーチャルウォーター（仮想水）という観点から考えると、牛丼1杯を作るのに必要な水の量は牛肉で1,480ℓ、お米で828ℓの計2,308ℓもの大量の水を使っているとの説明には興味津津、水の大切さを知らされた場面も。



多くの図やグラフでパワーポイントを使ってわかりやすく解説していただいた。

講演会終了後、有志30名程が厳しい寒さのなか川井顧問の案内で中将姫ゆかりのお寺をめぐる奈良町を散策し、その後はお酒を楽しんだ方、この日行われた若草山の山焼きを楽しんだ方に分かれた。（高本実男 記）

吼一喧筆

大石 門三

女王母さん、今日は外は寒いね。小雪が舞っているよ。でもこの石垣の奥のお家は温たかだね。ドロ壁と石組みで呼吸しているからなんだ。日本ミツバチは、太古以来この石垣や木々の祠に住み慣れているんだ。だから自然の一部であり、人に飼われていない野生種なんだよ。森の木々の花を結実させ、里の花々や郷の田んぼや道端の草やレンゲや梅も、風や小鳥さんや仲間の虫さんと一緒に実らせたのに。自然の仕組み、根っここの部分なのに。それで太古からずっとずっと気の遠くなるような時間も、変わらずお仕事して生活して生き、日本の森と野原と人間さまの農業を守ってきたのに。TPPなんて騒いでいるが、計り知れないお仕事をしている僕達に、もっと目を注いだら、特色ある差別化が可能なのにね。それで最近気になるのは、あちこちで明治時代からお友達になった西洋ミツバチさんが少なくなってきたら。どうもそれはね、「バクダン」という恐ろしい名前のお菓子が疑われているよ。なんだかお空から人間が操るリモコンヘリでお菓子を撒かれ死んでいってるんだって。カメムシさんが一番の被害者だって。僕達も一緒だよ注意注意。この地球からどんだん草さんや虫さん等の仲間が亡くなっていくのに。死的均衡、全てのバランスが崩れていくのに。四季折々いろんな木々や草花が咲き茂るのも、みんな僕達がいるからなのに。

それでね、僕たちは一つのスーパーオーガニズム、超固体と言われ、哺乳動物の一人の人間とよく似ているところが有るんだよ。お母さんの女王バチと色んなお父さん、それにいっぱいのお姉さんがいるでしょ。体温は35度（蛹）だし、子宮は巢板（社会子宮）が卵、幼虫、蛹を守り育ててその役目をしているし、お乳は姉妹ミルク（ロイヤルゼリー）で育てているよ。それと大事な脳は人間と同じで大きく、かつ言葉を持ち学習能力や認知能力を備えているよ。それがね、このお正月から西洋ミツバチさんと一緒にされ、ややこしい法律で縛られるだよ。僕たちは自然の一部、環境の一部で西洋ミツバチさんと少し違うのに。どんだん逃げて行ってやるから。僕たちは鶏さんや牛さんなどと一緒の家畜だってさ。イチゴやかぼちゃやキュウリさんも実らなくなり、食べられなくなるのに。西洋さんと違って、僕たちは病気にも強いし、暑さ寒さ湿気にも慣れてるし、清潔好きで毛づくろいもするので、ダニさんにやられないよ。

## 日本ミツバチのたはごと

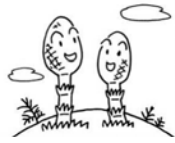
それと人間さまに優しいよ。長崎五島列島では、懸命にお世話くださった人のおかげで、僕達よみがったのに。そうそう、遙か彼方の南大東島についてこの前、10家族が飛行機とお船でカボチャさんに会いに行ってるよ。でもさ、何処までも続く杉林や、枯れた檜や松の林ばかりでいいお家が見つからないね。

そこで、人間さまに色々のノウハウ教えてあげるから、協働作業して仲良く生きていきたいね。それは人間さまに「日本ミツバチロードネットワーク」を日本全国に作ってもらい、人間さまは遊歩路自転車路にして、それぞれの網の中心中核部分に僕たちはお家を作るから。村の鎮守さまと一緒にだね。だから中心には森とお花畑があって、人間さまは鄙にも稀なる密源ハウスを道の駅にして、自然エネルギーセンターにもして、その路の下には情報管網を走らせたらいいでよ。土の路だからお金もかからず、高速道路よりずっと健康的で安心安全な散歩路だよ。各地のボランティアさんで日本全国に作ってくれるといいのに。そうすれば僕たちも美味しい百花密をいっぱい作って、少しは地代お家賃としておすそ分けできるのにな。一度舐めたら止められないよ、ほんと美味しいのに。それから吉野の桜や南部の梅林など、あちこち行ってお友達もいっぱいできるし、婚活や素晴らしい彼女とデートが叶うしね。それと一番大事なことは、良い遺伝子がいっぱい広がり繋がっていくことだね。人間さまも僕たちにもLove Raneだね。そうだ僕たちのお友達で大好きな金子みすずお姉ちゃんにもお願いしようよ。どうして。それはね、こんな詩があるよ。「母さん知らぬ草の子を 何千万の草の子を 土は一人で育てます 草が青々茂ったら 土はかくれてしまうのに」。地球って「土の固まり也」と書くよね。

この詩を聴いて、人間さまも少しは、地球とその自然の恵みの中で生かされている、手を合わせ感謝する心、スピリチュアルな心を取り戻してくれるといいね。



## 自然教室チームだよ!

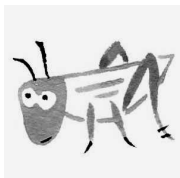


自然教室チームは「子供たちに自然の不思議や魅力を伝え、自然が好きになってもらう」ことを願って活動しています。主として「小学校の校庭の自然観察会」を開催し、子供たちに五感をもって自然に触れてもらい、日頃何気なく見過ごしている自然の不思議を楽しんでもらっています。自然遊びやネイチャーゲームも取り入れ、また自然工作も行うなど、私たちも一緒になって楽しんでいます。

皆さん 一緒に活動してみませんか。

### H24年度の活動内容

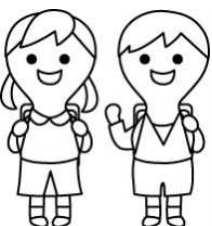
校庭の自然観察会は延べ5回で、いずれも子供たちに楽しんでもらうことができました。その他の観察会は7回でした。例会の担当と私たち自身の研修を兼ねた自然観察会でした。



項目	年度	回数	スタッフ	参加者
校庭の自然観察会	H24	5	48	260
	(H23)	(4)	(31)	(149)
その他の観察会	H24	6	47	53
	(H23)	(4)	(37)	(37)
合計		11	95	313

### H25年度の活動計画

H25年度はスタッフ全員で力を合わせて、より充実した活動を目指します。



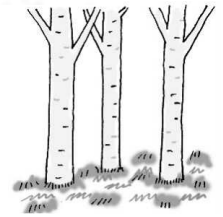
① H25年度の校庭の自然観察会はもう少し実施回数を増やして8校程度を目指します。

② またスタッフ自身が自然観察を楽しむように、例会担当を含めて月1回程度の自然観察会を実施します。

## H25年度の活動計画&スタッフの募集

#♪♭#♪♭#♪♭#♪♭#♪♭

この自然観察会は会報を通じて奈良人と自然の会全員にご案内し自由に参加していただく予定です。奮ってご参加ください。



③ 校庭の自然観察会の担い手を増やすために新たなメンバーの参加を勧めます。

### 一緒に活動を楽しみませんか!

- ① 自然が好き、子供が好きな方でしたらどなたでもできます。
- ② 校庭の自然観察会の実施に当たっては下見を行い、取り上げるポイントについて話集を作ります。必要あればリハーサルも行います。ですから初めは不安があるかもしれませんが、1~2回経験を積めば難しいことではありません。
- ③ 大事なことは私たちが子供たちと一緒に楽しむことです。参加されるときっと満足されると思います。
- ④ もしやってみようかなと思われる方は下記までご連絡ください。  
もちろん自然観察会に来られて話を聞いていただくことも歓迎です。

\*倉田 晃

### 4月の自然観察会のご案内

\* 4月8日(月)10時~12時30分

\* 鴻池運動公園内 万葉の苑

\* 集合場所と集合時刻:

鴻池運動公園

第1駐車場付近 10時



2月に予定していましたが雪のため中止しました。同じ内容で実施しますので是非ご参加ください。

## Monthly Repo. ならやま

### ◆1月24日(木) 晴れ 47名

初出の日から一斉作業を行った第5地区の笹刈りとスギの伐採を継続するとともに、県より借り入れたチップパー機で笹の粉碎作業も併せて実施した。

第5地区で上空に舞い上がる1羽のオオタカが観察された。近くに営巣地があるものと思われる。またベースキャンプ横の柿の木では、メジロが群がり、井戸端会議の真最中。

農園では春野菜の畑準備で積み上げていたチップを掘り返したところ、先客のカブトムシの幼虫に迷惑がられた。花関係では花壇の除草、寒肥やりも開始された。



### ◆1月29日(火) 晴れ 18名

チップパー機の借り入れ期間が2週間と短いため、急遽臨時の作業日を設けて第5地区の笹の粉碎を行った。

### ◆1月31日(木) 晴れ 54名+1名

第5地区のスギの伐採・笹刈り・チップパー機による笹の粉碎作業を継続実施。

農園では用水路に溜まった土砂の除去、じゃがいも畑のチップ投入、水田の水路整備など、花関係では日陰植物とアジサイの寒肥やりパンジー花壇の除草。

真冬とはいえ非常に暖かくて快適な一日であった。

### ◆2月7日(木) 晴れ 51名

しいたけ菌の打ち込み時期が迫ってきた。12月に伐採して準備しておいたコナラから、植菌に適した太さの枝の選別・切り取り。農園では先週に引き続きじゃがいも畑の準備、用水路の泥あげの継続実施。花関係では自転車道に沿った花壇の除草。



第5地区では伐採木の整理を進めながら小枝の焼却処分も実施。

### ◆2月14日(木) 晴れ 52名+24名

天気が良く、非常に暖かくて気持ちの良い一日であった。コナラを玉切りの継続実施。薪小屋作り着手、大工顔負けの頑丈な小屋が出来上がりそう。

第5地区の刈り倒された太い篠竹が、野菜の支柱として日の目を見ることになった。

パトロール隊からアセビのつぼみ、ヤマザクラの芽が膨らんだとの報告があった。春は一步步近づいてはいるようだ。

### ◆2月21日(木) 晴れ 49名+2名

皆伐地区では、しいたけ原木作りの作業継続。薪小屋は手の込んだ屋根がほぼ仕上がった。

農園では支柱用の青竹を100本確保し、畑へのチップ投入も進み、あとは栽培を待つばかり。どんな野菜が栽培されるのか楽しみ。

クロモジの花があと1週間で開花??

ならやま池の改修はかなり進み、水入れ時期もそう遠くないようである。(文責：木村)

# 里山の今



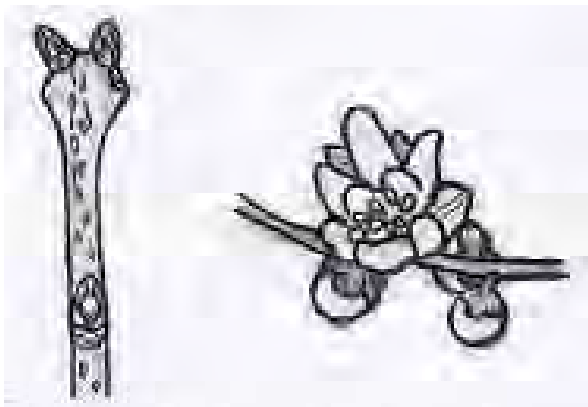
## \*ならやま花だより\*

山中 笙子

2月14日 冬の活動日の朝は、野原や畑も白く霜に被われ池も土も凍るかと思えば、春の兆しを感じられる日もあり、冬と春が押し合いをしています。そんな日中、ジンチョウゲ、ミツマタ、梅の蕾が日ごとに膨らんで、白梅は二輪ほど開花、満開の春が楽しみです。

佐保自然の森では、冬の花木、ソシンロウバイ（ロウバイ科）が陽を浴びて蠟細工の様な半透明の光沢ある黄色い花を咲かせ、その芳しい香りがパトロール隊を惹き付けました。

中国名の「蠟梅」の音読みが和名になったそうですが、由来は、臘月（陰暦12月）に咲く梅に似た花の臘梅、又は蠟細工の梅からの蠟梅との説があります。花芯が褐色なのはロウバイ、黄色いソシンロウバイは花も大きい。



▲ソシンロウバイの冬芽と花

【草花】 オオイヌノフグリ、ナズナ、ハコベ、タネツケバナ、セイヨウタンポポ、ヒメオドリコソウ

【木の花】 ソシンロウバイ、梅

【木の蕾】 ジンチョウゲ、ミツマタ、アセビ、ヤブツバキ、ヒサカキ（蕾と実）、ユキヤナギ

【木の実】 マンリョウ、ヤブコウジ、ネズ、

【花壇】 パンジー、スイセン

## \*ペタキン日記 ⑩\*

羽尻 嵩

ペタ子：ねえ、お母さん、

この前連れて行ってもらった家の隣近所のお家に、変わったお魚さんがいたけど、ここにはあんな魚さん全然いないよね。どうしてなの。

**母ペタキン：** そうね、私がここに連れられてきた時も、お魚はドジョウさんしか見かけなかったわね。そうだわ、昔からここに棲みついている年配のドジョウ爺さんに聞いてみようか。

ドジョウお爺さあ〜ん。

**ドジョウ爺：** どうしたんじゃ。今昼寝をしようと思ってたのに・・・フムフム、そうだな、実は私も曾爺さんから聞いた話しか知らんが、なんでも昔はここもいろんな魚がいて結構にぎやかだったそうさ。君たちに似た魚もいたらしいし、わしらに似た髭をはやした魚も何種類もいたそうじゃよ。

**ペタ吉：** ヘエ。そんな魚に会ってみたいな。

**ドジョウ爺：** でも、ある年の夏頃から沢山の魚たちが体が弱って死んでいったそうさ。また、ある年には、私たちが通っていた魚道が壊された殺風景な三面コンクリート張りの深い溝のある用水路が造られたそうさ。

それまでは毎年魚道を伝って広ろ〜い川に出て、いろんな魚さんが行き来していたのにそれが出来なくなったそうじゃ。やがて、この山里も来る人がいなくなり、竹笹に埋もれて淋しくなっていたそうなんじゃよ。

**ペタ男：** いやだ。そんなの許せない！

**ドジョウ爺：** わしが生まれたのはそんな時代で、環境は良くなかったが、それでもみんな支えあって何とか生き延びてきたんじゃ。しかし、最近、また田んぼやこのような池ができてきて、あんながたのような元気で可愛い魚さんにも会えたり、魚生、長生きしてると好いこともあるんだな。

**ペタ枝：** ヘ〜エ。そうだったの。私たち幸せな時代に生まれてきてよかったわ。でも昔のように、魚道を自由に行き来して広い川という所にも行ってみたいな。





**\*マイマイカブリ\*  
冬ごもりの昆虫**

菊川年明

寒さの厳しいある日、ならやま自然の森観察路沿いに横たわるアカマツの朽ち木を砕いてみたら冬ごもり（休眠）中のマイマイカブリが出てきた。マイマイカブリというのは甲虫類のオサムシという仲間

に属する大型の昆虫で、体長は約40mmである。成虫で越冬する。名前についているマイマイというのはカタツムリのこと、カブリはかぶりつく＝食いつくことで、カタツムリを食べる虫という意味である。体型はカタツムリの殻に口を突っ込みやすいように首のように見える部分（正しくは頭部と胸部）が細長くなっている。

写真の上は朽ち木の中で越冬していた状態。

下は同一個体の全身像である。



アカマツなどの朽ち木の中ではマイマイカブリのほか、いろいろな越冬昆虫（成虫）が見られるが、その多くは甲虫類で、しかもほとんどのものが黒色か、濃い灰色の地味な色あいのものばかりである。

朽ち木を砕くと、甲虫以外にオオゴキブリという真っ黒で巨大なゴキブリやヤカメムシ類、昆虫ではないが大きなムカデ、クモ、ヤモリなどもよく潜んでいる。

**\*ならやまパトロール隊\***

田中 修

1月より、パトロール隊の活動も充実してきました。メンバーとのミーティングで、しばらくは、従来の自然観察のチェック活動報告に加え、①道標案内板の設置作業。②4種類のコース別のマップの作成作業。③観察路の（約34箇所）ポイント設置作業。④急坂道の安全対策。等を並行して実施しています。

少し、コース名の紹介をします。下記4コースがあり、それぞれ約1時間半前後です。

- ◆ 1コース→外周コース
- ◆ 2コース→谷道コース
- ◆ 3コース→松山コース
- ◆ 4コース→北壁コース

メンバー皆様の動きが活発になりつつ有り、最近も一部に急な坂道に階段も出来上がりました。ならやま自然の森での、伐採木材再利用し円形ポイントの設置も始まりました。

私個人としては、今後に向けて花・木・植物の表示板も希望するところです

観察としては、ウメの咲く時期はまだ寒く、昆虫はほとんど見ませんが、野鳥の囀りが、日々増えている気配がします。呼称（オオタカの辻）では、アセビ（馬酔木）の花が咲き始めています。呼称（谷の出合）近くではヤマザクラの葉芽が伸びかけています。ならやま自然の森、近くではヒイラギの実生が2・3本が見られました。木の上では、野鳥たちの散策が沢山見られる様になりました。コ克蘭・シロミノカラタチバナも見受けられます。



（道標案内板）



（ポイント）



（整備後の急な坂道）

## やさしい昆虫講座②⑨ 虫であって虫でない虫 木村 裕

皆さん方をはじめ多くの方が虫と呼んではいるものの、虫ではない虫を紹介します。

ダンゴムシは地面をうろうろしていて手を触れるとあわてて丸くボール状になる虫ですが、ムシとは言っても虫ではありません。腹をよく見てください。嫌がってすぐに丸まってしまうのですが、お願いして足の数を数えさせてもらってください。7対(14本)ありますので、6本脚の昆虫とは違います。すなわちエビ・カニ・ザリガニの仲間の甲殻類です。

お庭や畑で見られるダンゴムシは、正式名称は「オカダンゴムシ」で、日本古来の由緒正しい虫のような振りをしていますが、実は明治時代に海外から無断で日本へ侵入してきた一族の末裔と言われています。乾燥に強かったことから縄張りを広げています。日本固有の種は「コシビロダンゴムシ」ですが、乾燥が苦手なことから森林内に住んでいますのでまずお目にかかることはないでしょう。また海岸にはやや大型の「ハマダンゴムシ」が縄張りを持っています。この虫が害虫かどうかで議論の対象になりますが、本来の食物は腐りかかった有機物で、自称お掃除やさんです。その点からは無害な虫といえますが、いろいろな草花、野菜類の葉も食べますので害虫ともいえます。とくに双葉が開き、本葉が開き始めた頃に被害が目立ちます。生え揃った芽が食い荒らされて全滅することもあります。

成虫も幼虫も同じような形をしており、羽が生えることはありません。成長段階で脱皮を繰り返しますが、一度に全部脱がずにまず体の後半分の皮を脱ぎ、ついで周囲の安全を確認してから残り前半分の皮を脱ぎます。そして脱いだ皮には貴重なキチン成分があるので捨てずにすぐに食べてしまいます。それゆえ、昆虫のような脱皮殻が残っていることはありません。

夜行性で昼間は植木鉢や石の下に潜んでいて見つかりませんが、夜に懐中電灯を持って見に行くと、草花の葉に群がっているのが見られます。

防除対策は植木鉢、プランター、石の下にいる虫を片っ端から捕まえることですが、残念ながら皆さんに捕まるのは運の悪いほんの一部の虫で、全滅させることは出来ないでしょう。園芸店では粒状になった防除薬剤があり、雨の降らないときを狙って地表面にばらまいておくと非常によく効きます。食べ物と思って食いついた気の毒な虫が翌朝には中毒死して地表面にごろごろと転がっています。全滅は出来ませんがしばらくはおとなしく謹慎するようです。

姿が似ているにも関わらずつついても丸くならずにごそごと逃げて行くのは「ワラジムシ」という虫です。ダンゴムシと同じような所に住んでいて、腐りかかった有機物を食べています。海岸の潮の満ちてこない岩場の上を走り回っている「フナムシ」はワラジムシの親戚です。藻や動物の死骸を食べています。ゴキブリのように逃げ脚が早く捕まえにくいですが、たまには水に落ちる？こともあるようです。ベテランのスイーマとは言いがたいですがフナムシ泳ぎで少しは泳げます。



~~~~~ **例 会 年 間 計 画** (保存版) ~~~~~

平成25年度の「例会年間計画」が決まりました。今年も多くの方のご参加をお待ちしています。

| 月  | 日        | 曜      | 企画テーマ                  | 企画ポイント                                             | 担当者            |
|----|----------|--------|------------------------|----------------------------------------------------|----------------|
| 4  | 9        | 火      | 春季ハイキング<br>(歴文クラブと共催)  | 桜の大和郡山城と金魚を視察                                      | 川井・寺田<br>井戸    |
| 5  | 14       | 火      | 自然観察会Ⅰ<br>(自然教室チーム担当)  | 宇治植物公園、植物観察と散策                                     | 倉田・平岡          |
| 6  | 4        | 火      | 軽登山                    | 奈良盆地の展望台「龍王山」登山                                    | 塩本・寺田          |
| 7  | 23       | 火      | 夏季ハイキング                | 赤目四十八滝、溪谷の冷涼爽快、<br>自然探勝                            | 羽尻・青木          |
| 8  | 2        | 火      | 夏季自然研修会                | 日本水源の森100選に選ばれている<br>「山門水源の森」の探索観賞                 | 鈴木・豊島          |
| 9  | 9        | 月      | 自然観察会Ⅱ<br>(自然教室チーム担当)  | 馬見丘陵公園、植物観察と散策                                     | 倉田・高本          |
| 10 | 28<br>29 | 月<br>火 | 一泊研修旅行                 | 「ファームハウス・コムニタ」<br>(福井県池田町の町おこし事業)<br>と越前の史跡、名刹等を探訪 | 阿部・寺田<br>奥野・八木 |
| 11 | 未定       |        | 歴史・文化探訪Ⅰ<br>(歴文クラブ担当)  | 平群の古代遺跡を探訪                                         | 川井・富井          |
| 12 | 未定       |        | 初冬ハイキング<br>忘年会         | 紅葉の正暦寺近郊散策<br>忘年会                                  | 境・八木<br>塩本     |
| 1  | 未定       |        | 新春講演会                  | 里山保全・環境問題・歴文等、テーマを絞り、有識者に講演依頼                      | 藤田・阿部          |
| 2  | 未定       |        | 冬鳥探鳥会                  | 自然とのふれあいを通して野鳥保護の普及啓発                              | 小田・勝田          |
| 3  | 未定       |        | 歴史・文化探訪<br>(歴史文化クラブ担当) | 巨勢古道「つらつら椿の里」探訪                                    | 川井・古川<br>森     |

- \* 次ページに例会の解説を載せています。
- \* カレンダーの横などに掲示してご利用ください。



**◇4月例会 「桜の大和郡山城と金魚文化を視察する」 (歴史クラブと共催)**

柳沢15万石の城下町の繁栄を今に伝える郡山城跡の桜をゆっくり愛で、300年前から始まる金魚養殖文化を探索します。郡山城主柳沢家の菩提寺「永慶寺」なども訪ねます。

**◇5月例会 「宇治市植物公園 植物観察と散策」 (「自然教室チーム」 担当)**

園内は、春・夏・秋のゾーンに分かれ四季折々の自然が楽しめ、温室は年間を通して熱帯・亜熱帯植物が鑑賞できます。観察後「宇治平等院」近辺の散策も楽しいです。

**◇6月例会 「大和の展望台 龍王山へ登る」**

城郭跡が残り大和三山など奈良盆地大パノラマが満喫できる「龍王山」(585m)へ登ります。山の辺の道にある「長岳寺」横手から入ります。過去2回雨で中止。3度目のチャレンジです。

**◇7月例会 「赤目四十八滝 溪谷の冷涼爽快自然探勝」**

関西有数の溪谷美を誇る「赤目四十八滝は、3km以上にわたり大小様々な姿の滝が現れ、楽しませてくれます。夏でもひんやり飛沫で気分爽快な滝めぐりです。

**◇8月例会 夏季自然研修会「山門水源の森を観察する」**

福井県境に近い野坂山地の「山門水源の森」(長浜市西浅井町)は、「日本水源の森100選」「日本の重要湿地500」にも選定された、多様な植生の森と湿地です。ガイド付きで回遊します。

日帰り貸切バスで訪ねます。渡岸寺・国宝十一面観音の拝観も予定しています。

**◇9月例会 「馬見丘陵公園 植物観察と散策」 (「自然教室チーム」 担当)**

「馬見丘陵公園」は、広陵町・河合町にまたがる馬見丘陵の歴史的遺産と豊かな自然環境に恵まれた広域公園です。四季の草花、樹木、多くの野鳥など見どころの多い公園です。

**◇10月例会 一泊研修旅行「ファームハウス・コムニタと越前の史跡・名刹を訪ねる」**

町おこし事業を幅広く展開している福井県池田町の「ファームハウス・コムニタ」を視察します。広大な「朝倉氏一乗谷遺跡」、鬱蒼とした杉木立と苔寺で有名な「平成寺」、日本を代表する「福井県立恐竜博物館」、「中池見湿地」なども訪ねる予定で、見どころの多い研修旅行です。

**◇11月例会 「平群の古代遺跡を訪ねる」 (「歴史・文化クラブ」 担当)**

奈良県の西の端に位置する生駒郡平群町は、古代豪族「平群氏」の本拠地として知られますが、有名な長屋王墓など古墳が100基以上築造されたといわれる古代遺跡宝庫の地です。

**◇12月例会 「紅葉の正暦寺へ歩く」「忘年会」**

「正暦寺」は、市街地からそれほど離れていませんが、深山幽谷の中にある趣の名刹です。

奈良でも紅葉の名所として知られています。終了後、奈良市内で「忘年会」開催の予定です。

**◇1月例会 「新春講演会」**

演題、講師検討中です。

**◇2月例会 「冬鳥探鳥会」**

厳寒のこの時期、例年「カモ」を中心とした「冬鳥探鳥会」を実施しています。

近年鳥の飛来が少なくなっている場所もあり、現在行先検討中です。

**◇3月例会 「巨勢古道 つらつら椿の里を訪ねる」 (「歴史・文化クラブ」 担当)**

万葉集でも詠われる「巨勢(こせ)古道」は、飛鳥からも近く、吉野や紀伊への道として古来、幹線として人々の往来が盛んだった所です。「阿吽寺」は椿の名所として知られます。

# 鳥シリーズ 小田久美子

## 身近な小鳥たち

冬限定の餌台を作りました。ボロ屋ですがそんなことに無頓着に来てくれる鳥たちです。ミカンにはメジロ、ヒマワリにはシジュウカラ、時折ヤマガラが現れます。そろそろラブラブな季節で皆んなペアで来ます。そして紋付鳥＝ジョウビタキ(♂)はいつも一羽で現れます。朝、声があるのでそっと窓を開けたら、口いっぱいクロガネモチの実を落とさないよう上を向いて「カッ! カッ!」と鳴いていました。ジョウビタキは♀と云えども自分の縄張りには入れませんが、アオジは雑草が残る地面でいつも仲良く♂2羽で採餌しています。

同じ冬鳥といっても冬越しの様子が違うのが面白いです。俄か作りだったのでヒヨドリが来たあとは、ミカンは皮だけということも度々になりネットを掛けました。朝メジロの催促の音が聞こえて、ミカンを持って窓を開けたら、珍しくウメドキの枝で休憩中(?)のツグミが飛び立ちました。まじかで見ると、シジュウカラとメジロでは大きさの違いが良く分かります。メジロはキョロキョロしながら、何処かにシジュウカラを感じると「お先にどうぞ」と譲っています。警戒音が聞こえてよく見ると何羽かがニアミスして怒っています。何ペアかが入れ替わって餌台に来ているようで、ミカンもヒマワリも直ぐ無くなり給仕に忙しい毎日になりました。たまにウグイスが来るとメジロのペアは盛んに脅しをかけ、キンモクセイのてっぺんにウグイスの頭が飛び出したり入ったりした後、根負けしたウグイスが飛び出して行きます。

シジュウカラには弱いくせに大人しいアオジにも脅しをかけるメジロ。ドラマチックな鳥たちの生活を覗かせてもらって楽しんでいます。



## 地域情報

【斑鳩】ハクセキレイ・セグロセキレイにくらべ見る機会の少ないキセキレイですが、神南のお家に毎日いてくれます。1度目はそのお家の車のサイドミラーに突っついていました。次の日は、2階の手すりに止まり、サンルームをつついていました。どうやら自分の姿に向かって攻撃しているようです。手すりには白い糞がいっぱい付いているので、今日が初めてではないようです。5日間見えています。ここが余程お気に入りなんでしょうか?それとも、恋のライバルとでも?

24日三室山のてっぺんのコナラに大きく白い鳥が?近付いて見ると、オオタカのようなようです。でも、その横にはエサになるようなアトリがいっぱい止まっています。両方とも朝日を浴びてゆったりとしていました。???な時間でした。

(勝田 記)



### 【鳥情報】

2/14 元興寺塔跡でイチヨウとクロガネモチに  
ヒレンジャク17羽

# 美味旬感 西谷範子

## ヒメオドリコソウ

可愛い舞姫たちの群舞

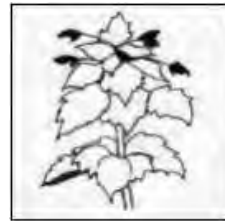
3月になると草木はいっせいに伸び始めます。野草料理の最盛期です。野も山も若葉や若芽がいっぱい。勿論ならやまも食草だらけですが、今回は明治時代に入ってきた外来種の雑草に挑戦してみます。まだ新参者ですから、昔から食べられてきたというものではありません。

花はピンクで可愛らしいのですが、繁殖力が強いので大群生し、むしろ田畑の害草扱いです。ならやまでもホトケノザやオオイヌノフグリと混植していますのでこれだけを摘むのは大変です。

今はまだ緑色をしています。花が咲き出すと葉の上部が赤くなります。葉は小さなハート型で細かい毛があり、ふわふわしています。シソ科です。茎は四角で中が空洞です。

とりあえず放射状に葉の広がった笠状の上部を摘んで、姿を残して天ぷらにしてみましょ。衣はしごいて軽くつけます。特に強烈な癖はないので、おとなしい春の草の天ぷら程度ですが、姿を楽しみましょう。

同じくもう少し下の方のやわらかい茎の部分まで摘んで、茹でてみました。そんなにあくや癖はないのですが、味にも香りにもこれといった特徴はありません。



細かくきざんでおひたし、ごま和え、山椒味噌、柚子味噌、酢味噌、マヨネーズ和えなど試してみましたが、それなりに食べられてもうーんうまい！

という味でもありません。

それならば西洋のものは西洋の少し味の濃いものと合うかとも思い、おやつピーナツを細かく刻んで合わせてみました。味噌和えなどこれはよく合いました。クルミやベーコンなども合うでしょう。鯖のフレーク状にしたふりかけと合わしたら、これもゲーです。

副材を乗り越えてヒメオドリコソウの少し噛み応えのある菜の味が生きています。

これからいろいろ挑戦して、レパートリーを広げられそうです。

私の究極の技に、それ自体に特徴のない素材の時、ギョウザの皮に素材と一緒にちよつと違うものを合わせて、味噌などを少し乗せて包み、揚げるというやり方があります。合わせる物の工夫は要りますが、大体うまくごまかせて良いおつまみやおかずになります。



## 奈良学クイズ



【問】次の解説文にあてはまる寺院の正式名称「〇〇山〇林寺」をお答え下さい。

天平時代に建立されました。1180年の平重衡の南都焼き討ちにより、東西両塔などは残りましたが、金堂、講堂などを焼失しました。国宝の本尊・塑造弥勒仏坐像は白鳳時代の作、国宝の梵鐘は無銘なるも、作風等から日本最古級と推定されています。近世以前建立の三重塔が、東西2基共に揃って残る日本唯一のお寺です。



◆正解の方に、赤米を  
進呈します。

◆応募方法は、メールでお願い致します。

※応募締切は、3月5日です。

蒼鷹おたかの舞ふならやまに日脚伸ぶ 古川裕司

ひよいと仰げば、二羽のオオタカが舞う。  
睦み合う姿に、春の到来が近い。

寒梅や手植えし人へ便りせん 古川裕司

手植えし人は大石門三氏。二代目梅守は古川さん。  
育てて三年。開花が近い。初代に朗報を。男の優しさ。

里の畑朝しらしらと霜の花 大澤教男

初投句。余人ではない作品。  
作者はいつも徒歩で来られる。「霜の花」の  
季語の斡旋が巧い。ご健吟を祈る。

切株に腰も哄ふて春隣 大澤教男

大澤さんは山男がよく似合う。繊細な感性に意外な一面を  
見たと言えば失礼か。  
山仕事のひととき、春がそこまでやって来たと言う。  
腰の疲れも春の気配を讚美している様で。



自然俳句 監修 川井秀夫

新蕎麦しにせの老舗しにせの香り「かくれみの」八木順一

そば研の新年会。老舗の座敷は春の装い。  
北海道のプロの手打ちにご満悦。至福のひとつとき。

春耕つちくれや土塊動き光なす

農繁期にけて土壌整備が始まる。  
眠れる土が顔を出す。春光が眩しいか。

川井秀夫

大仏殿あぶり出したるお山焼き 川井秀夫

若草山が燃える。テレビ画面に大仏殿が浮かび上がる。  
「お山焼き」は特に奈良の春の行事として季語に使う。

怖々と梅の蕾の開くとき 川井秀夫

何をためらっているの。春の魁として早く花を  
見せてちょうダイ。待ってるよ。

癒しの散歩道

春への郷愁

谷川萬太郎

想えば遠き故郷の空は  
時は静かに身支度を整え  
長い冬物語の主人公達よ  
流れる雲に戸惑うはぐれ鳥

今巡る季節の出会いの中に  
胸おどる新しい季節を待つ  
未練心は刹那に埋もれて  
あゝ春忘れじのブルースよ



まだ見えぬあなたを探して  
巡る季節の音にときめく胸は  
健気な少女の愛しさに似て  
春よ水色の空よそして雲よ

春の夢を追いかけた日々が  
さざ波のように微かに揺れ  
可憐なスイトピーの色模様  
私の切なき心は雲上の春だ

ならやま論

「米の一分」

竹本 雅昭

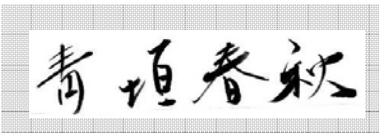
～ドッスンと杉が倒れる～  
にぎり飯：うわあー！バラバラになっちゃった、杉さんどうしてくれるのさ。  
杉：どうもこうもあるもんか、ここんところ仲間が伐採され笹も全部刈られてるのが分っていたらうが。  
にぎり飯：私は天辺にいたのでよく分らなかったわ、あんたさえしっかり立っていてくれればよかったのよ。  
杉：おゝ、こいつは参ったなあ。いくらわしが大木とて、あのチェーンソーの一刀流にはかなわんことよ。  
にぎり飯：こんな惨めな姿になるんだったら、早く鳥に食べられた方がましだったわ。やっと人様のお役に立てると思ったのに運が悪かったわ。  
杉：まあ、いろいろあらあな。わしだってブツブツ玉切りされて御陀仏さ、そろそろ花粉を飛ばそうと気合いが入ってたのになあ。  
にぎり飯：鳥さん、どこかでうらめしそうに見てるかしら。

杉：なあに町に出掛けてあんたより美味しいもん見付けてるだろうよ。  
にぎり飯：まあ失礼ね、あら蟻がウロウロしてるわ、来世にはきっと人々のお役に立てるようになりますように。そうでなければ私の一分が立ちませんもの。  
杉：そうだ、その気持ちよく分るよ。マータイさんが感心された「もったいない」の心持ちある人の元へ行けるといいよな。  
～蟻…まあまあもったいない、頂きます。



\*ワンガリ・マータイ (ケニア環境副大臣)





隠れ古社寺 ひとり旅 ⑤  
五劫院・護国神社

歴史文化クラブ

川井 秀夫

今回はやや対照的な寺社を訪ねてみた。京街道と柳生街道が分岐するところに今在家というバス停があり、佐保川に沿って10分東へ行くと長い土塀が続き、寺門に至る。五劫院である。劫とは未来永劫の一字であり、大きな岩が天女の衣で撫で、岩が消滅するまでの時間を表す。気の遠くなる数の単位である。

私が訪れた理由は、江戸期、松永弾正の手で焼亡した大仏殿再興の立役者、東大寺大勧進職公慶上人の菩提寺にある由来と五輪塔を見たことによる。

寺門を入ると、俊乗坊重源上人の碑がある。鎌倉期、南都焼き討ちで焼討された大仏殿再興に奔走した人で、豪快で奔放な建築様式(天竺様)を採り入れ、現在の大仏殿にも継承されている。

さて、二度目の再興に尽くした公慶は、難事業の末、棟上げの完成を見て祝宴を催し、上洛を果たすが、滞在中に勧進の中枢であった徳川綱吉の母・桂昌院が没す。その一ヶ月後、公慶自身も病に倒れ、1795年7月に病死する。

遺体は大和に運ばれ、重慶上人開基の五劫院に葬られたとある。墓地には一際大きく五輪塔が立ち、大仏殿再興の威徳が偲ばれる。

公慶の五輪の塔に春日さす 拙作



奈良駅に戻り、再び「藤原台」行きのバスに乗る。護国神社を訪う。三笠山・若草山・御蓋山・高円山・布留山に至る春日連山が迎えてくれる。

高円山の麓、古市町に広がる社地は雄大で、明治以降、高円の社・椿の社として市民の憩いの場として、一万五千坪の広さをもつ。

昭和17年、県民の奉仕により荘厳な社殿が完成して、奈良県ゆかりの軍人・軍属・従軍看護婦・満蒙開拓青少年義勇軍など英霊29,245柱を祭祀する。正に奈良の「靖国神社」であろうか。

海行かば水づく屍 山行かば草むす屍  
大君の辺にこそ死なぬ 顧みはせじ  
大伴家持の碑がある。戦中派の私など特別な感慨が過る。

また、この地は万葉集に24首が詠まれ、古代には、豪族ワニ一族の小野氏が支配し、下って戦国期には興福寺の衆徒・古市澄胤が権勢を振るう。この古市氏の油山城趾が、この地にあり、筒井順慶に焼討されるまで幾つかの山城があったと言う。

私の見る限り、奈良の地にこんな壮大な社があったかと驚きである。一の鳥居から参道が整備され、照葉樹林の社叢、万朶の桜木も多く植栽され春には格好の花見が想像される。

帰路、雪しぐれが頬をたたく。今日は奇しくも建国記念日。古くは紀元節。奈良駅の立ち飲み「豊祝」で熱燗を煽り家路を急ぐ。今宵は湯豆腐で一杯やるか。

兵<sup>うはもの</sup>の鎮魂捧げ雪の華 拙作



サークル報告

『そば研ク』新年会に出席して



「そばクラブ」が誕生して三年。恒例の新年会が月遅れの2月1日。旧京街道奈良坂豆比古神社近く、そば処「かくれみの」にて開催。そばクラブの劣等生ながら末座にてお相伴に預かる。参加者22名 盛会だ。

店の看板が洒落ている。戸板に「かくれみの」の墨痕、店の歴史を聞きそびれたが、昔京都・奈良を往還する旅人には、こんなお休み処がよく似合う。

座敷に上がると、日本座敷の通し間に座敷机が整い、部屋の造作が素晴らしい。床の間にはご主人の直筆の書軸、南天と水仙の生け花、違い棚には酒器の名品が並ぶ。そば御膳の箸袋までこだわりの彩色が艶やか。

さて開会。

古川代表の挨拶。会員の技量上達を称え（劣等生は別）、里山にも熟達者によるそば屋台の頻度を増やし、生産価値を高めたいと意欲的。また現在整備中の第5地区にソバ畑をと、強い願望が披瀝される。

田辺師匠からは、芸域を拡げるために今年は茶ソバ・とろろソバ・胡麻ソバなど色々な変わりソバを指導して行きたいとのメッセージを受ける。拍手、拍手。

当店の蕎麦は北海道産 2・8蕎麦。コシがありなかなか美味、銘酒のコクと相俟って談論風発、良いスキンシップが図れたと、至福のひとつきに皆さん大満足でした。ただ私の独り言ながらそばのお代りが出来なかったのが、唯一心残りでした。

ともかくにも世話役の寺田さんご苦労さんでした。

最後に里山の皆さん。そば屋台出店の際には、ぜひ賞味下さる様『隅から隅までずいーとお願い申し上げます。』団十郎張りに声を発しましたが、ここは紙面とてお聞き届け頂ければ幸いです。

帰路は般若坂から多門城跡を経て奈良女子大を通り、近鉄奈良駅にて解散。

(川井秀夫 記)



▲ 奈良豆比古神社前にて



▲ そば処「かくれみの」にて

# ならやま景観整備 & 情報BOX

## ♪ 活動予定日 ♪

|    |                               |
|----|-------------------------------|
| 3月 | 7日(木) 14日(木) 21日(木)<br>28日(木) |
| 4月 | 4日(木) 11日(木) 18日(木)<br>25日(木) |

◆場 所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林  
[ならやま会館前道路(ならやま大通り)の  
南側に広がる里山林地]

◆集 合：現地ベースキャンプ地・午前9時

◆終了予定：午後3時

◆アクセス

JR平城山駅下車、東口から南へ徒歩10分  
近鉄奈良駅・バス13番乗り場

8:23発、高の原行き(平日)

近鉄高の原駅・バス1番乗り場

8:33発JR奈良駅行き(平日)

②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」  
で下車 徒歩7分

◆携行品など：弁当、飲み物、  
軍手(作業用具は現地で用意)



環境保護のため、お椀、箸、コップなどは  
各自ご持参下さい。

◆連絡先：木村 裕



### 3月7日

<里山Gr>・シイタケイベント準備  
・薪小屋の製作・薪作り  
・里山林維持管理作業

<農園Gr>・南瓜予定畑の準備(元肥施肥)  
・牛蒡予定畑の準備

<景観Gr>・第5地区草刈り、整備、片付け  
・ならやま池水入れ  
・ヒオウギ水仙抜き取り  
・玉すだれ、リコリス移植

### 3月14日

<里山Gr>・シイタケイベント準備  
・ホダ木の菌打ち  
・薪小屋の製作・薪作り  
・里山林維持管理作業・

<農園Gr>・人参・蕪・大根畑の畝作り  
・サツマイモ畑準備、馬鈴薯マルチ被覆

<景観Gr>・第5地区草刈り、整備、片付け  
・ならやま池水生生物調査  
・パンジー・ビョウヤナギ移植  
・ピオトープ地草取り

### 3月21日

<里山Gr>・ホダ木の菌打ち・薪作り  
・カシナガ被害木の伐採処理

<農園Gr>・各種葉菜類播種

<景観Gr>・第5地区草刈り、整備、片付け  
・機械整備、調整  
・東池の水路整備  
・シラン移植、  
・佐保自然の森

### 3月28日

<里山Gr>・薪作り・里山林維持管理作業

<農園Gr>・大和薯・牛蒡植え付け場所準備  
・葉菜類トンネル補修など

<景観Gr>・第5地区草刈り、整備、片付け  
・機械整備、調整

・ならやま池の水生生物調査

・東池の水路整備

・ニゲラ種まき、草取り、佐保自然の森





# 行 事 案 内

## ※ 3月例会ご案内

### 神話の故郷

#### 早春の山の辺の道を訪ねる

古代から神の山としてあがめられてきた三輪山の周辺は、記紀にもたびたび登場する神話と伝承に包まれた聖地です。また、山麓をめぐる山の辺の道沿いに散在する我が国最古の古墳群は、初期大和王権発祥を裏付けるものとされていますが、さらに女王卑弥呼の邪馬台国のありかとも関連して考古学ファンにも興味をいやがうえにも掻き立ててくれる場所です。さらには、この歴史の舞台に詠まれた万葉集の歌碑が数多く建てられていて、万葉ファンの興味を一段とそそります。

今回は、三輪山をめぐる祭祀と伝承、初期大和政権の存在を裏付ける巻向・大和・柳本の前期古墳群、万葉歌碑の3ポイントについて、やや深掘りしながら歩いてみることにします。早春の山の辺の道に、たたなづく青垣、大和3山から葛城・二上山へと広がる国中の展望を楽しみながら、古代へ想いを馳せてみたいと思います。同好の皆様方のご参加をお待ちします。



### 《日時・コース》

#### ◇ 集 合 3月26日(火)

J R三輪駅改札口 (9:40)

⇒大神神社・若宮社 ⇒ 大美和の杜 ⇒ 狭井神社・倭笠縫邑 ⇒ 玄賓庵 ⇒ 檜原神社 ⇒ 万葉歌碑の丘(昼食) ⇒ 景行天皇陵 ⇒ 崇神天皇陵・櫛山古墳 ⇒ トレイル青垣(休憩) ⇒ 大和稚宮神社・歯定神社 ⇒ 中山大塚古墳 ⇒ 西殿塚古墳 ⇒ 西山塚古墳 ⇒ 大和神社 ⇒ J R長柄駅

#### ◇ 解 散

J R長柄駅 (15:00 予定)

\* (コースはなだらかな道ですが、滑りやすい場所もあります。トレッキングシューズでお越しください)

### 《交通案内》

- ★近鉄西大寺発 8:46 ⇒ 天理(乗換)  
J R天理発 9:17 ⇒ J R三輪駅着 9:32
- ★J R奈良発 9:00 ⇒ J R三輪駅着 9:3

### 《担 当》:

川井秀夫・杉本登・坂東久平・古川祐司  
(連絡先: 古川祐司)

行事案内・続



### 子持ち勾玉

3月例会・資料

古墳時代中期 桜井市教育委員会  
 芝遺跡（桜井市） 長さ8.1 幅2.7  
 厚さ2.2cm 重さ90g

滑石製で、親勾玉の腹部・背部・胴部にさらに小さな子勾玉が削り出されている。親勾玉の一端には円孔が穿たれ、表面には竹管文が付けられている。子持ち勾玉は、信仰の対象である三輪山とその周辺で出土することが多く、三輪山の祭祀に関連してもちいられたとみられる。親勾玉がもつ霊の魔力を、子勾玉に増殖させるという意味が込められ、多産・豊穡・繁栄などを願ってつくられたのであろう。

**新入会員歓迎会**

- ◆日 時：平成25年3月21日（木）  
（予備日3/28）
  - ◆場 所：ならやまベースキャンプ
  - ◆会 費：500円（新入会員は無料です）
  - ◆メニュー：バーベキュー・焼きそば・おでん
- ※各自おにぎり持参をお願いします。  
 ※なお、お皿とお箸などもお忘れのないように！  
 \*ノーマイカーデー（アルコールがでます）  
 昨年 年度途中で入会された方も歓迎いたします。  
 奮ってご参加ください。



**やってみよう！！しいたけづくり！**

- ◆日 時：平成25年3月16日（土）10時～15時
- ◆場 所：ならやま里山林およびベースキャンプ
- ◆募集要領：奈良市公報「しみんだより」に掲載  
および近隣小学校へのチラシ配布による募集
- ◆募集人員：小学生30名（別途同伴保護者20名を想定）



◆募集期間：3月1日（金）～  
3月8日（金）

（前日19時前のNHKの天気予報で、午前中の降水確率60%以上の場合は中止）

**4月度 例会予告**（歴・文クラブ後援）

- 桜花の季節を迎え、郡山城を中核に花見を兼ね、歴史・文化の研修にコース設定させて頂きました。多くの方々のご参加を期待しております。
- 1, 日 時：4月9日（火）
  - 2, 集合場所：近鉄郡山駅・東改札口前  
午前10時
  - 3, コース：郡山駅→永慶寺  
（住職よりレクチャー）→郡山城（柳沢家菩提寺）  
（昼食・花見・柳沢文庫・逆さ地藏など見学）  
大納言塚→金魚文化館→郡山駅 解散午後3時頃  
（豊臣秀長の塚）
  - 4, その他：弁当・飲み物・敷物・筆記用具など  
当日、資料配布いたします。
- ※詳細は4月号にてご案内いたします。  
 世話役：寺田 孝・川井秀夫・井戸八穂子



